

## 「新たなごみ焼却工場を目指して」

### ～新技術を用いた工場の効率化に官民協働で取り組みます～

横浜市は、資源循環局金沢工場でボイラーに付着したダストを落とすための「圧力波クリーニング装置」について J F E エンジニアリング株式会社の提案を受け、共同実験を行います。

#### 1 概要

焼却炉運転中のボイラーの伝熱管にはダストが付着し、熱効率が低下するためこれを定期的に落とすことが必要です。従来蒸気を使用して吹き飛ばしていましたが、これには噴射する蒸気中にダストが巻き込まれて伝熱管表面を摩耗させるという問題がありました。

そこで、蒸気を使用しないでダストを除去する「圧力波クリーニング装置」の設置提案を J F E エンジニアリング株式会社から受け、今回共同実験を行うこととしました。

#### 2 期待する成果と活用

導入により伝熱管摩耗により発生する補修費を抑制できるだけでなく、蒸気では届かない場所のダストも効果的に落とすことが期待できます。

また、ダストを吹き飛ばすために使用していた蒸気を蒸気タービン発電機に使用することができるため、金沢工場での発電量増加が期待できます。試算では年間 900,000kWh（一般家庭約 280 世帯分）の発電電力量の増加が見込まれるため、この検証も行うとともに、効率性・メンテナンス性などの状況を確認し、金沢工場への導入を検討していきます。

#### 3 期間

平成 29 年 8 月 4 日から平成 30 年 3 月 31 日  
（設置工事期間 5 月下旬から 6 月下旬（予定））

#### 4 金沢工場概要（参考）

焼却量：400t/日・炉×3炉  
焼却炉形式：日本鋼管フェルント式  
発電量：35,000kW  
竣工：平成13年3月

お問合せ先		
資源循環局金沢工場長	阿部 紀秀	Tel 045-784-9711